

図書だより



岡本小学校 2021年11月4日



秋が深まってきました。夕方、西の空のだいたい色と山の黒い影を見ていると、ちょっぴりさみしくなります。こんな夕ぐれどきには「昔ばなし」が合うな、とわたしは思います。みなさんは、この季節のこんなときにこの本が読みたい、とうのはありますか。



あたら ほん しょうかい 新しい本の紹介



『めいたんていサムくん』

那須正幹 // 作

空色のハンカチのにおいをかぐと、頭がさえる小学生のめいたんていサムくん。日常にひそむどんな事件もサムくんの名推理で解決！



『ホントに食べる？ 世界をすくう虫のすべて』

内山 昭一 // 監修

アブラゼミのチリソー、トノサマバッタの天ぷら、エンマコオロギカレーなどなど、昆虫食を通して食料問題にいどむ。



『こども六法』

山崎 聡一郎 // 著

いたずらのつもりが犯罪になる、気軽に言った悪口は人権侵害。自分たちの身の回りのできごとを法律に照らし合わせて考えてみよう。



『明日話したくなる お金の歴史』

阿部 泉 // 著

古代から現代までお金の歴史がよくわかる。日本のお札に登場する人物や世界200か国・地域の通貨が一冊でわかる。



こんげつ ひ 今月この日はなんの日 ～二足歩行ロボット登場～

2000年11月20日、世界で初めて自分自身で二足歩行するロボットが登場しました。本田技研工業が開発したASIMOです。

人間のように動くロボットの開発は、人類の長年の夢でした。1973年に早稲田大学が開発したWABOTO-1は、一歩進むのに数秒かかりました。それから約30年、ASIMOは歩くだけでなく、おしぎや握手をしたり、複数のASIMOで人を案内したりお茶を出したりすることができます。ASIMOによりロボットの開発は大きな前進をとげました。

- 『新きょうはなんの日？』ポプラ社
- 『日本のロボット』岩崎書店



おすすめの
ほん
本はこちら



『日本のロボット』

岩崎書店



おすすめ調べものサイト

～SDGsについて調べる～

「SDGs」という言葉、最近よく耳にするようになりましたね。SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味で、2015年に国連で採択された国際社会が団結して取り組む課題のことです。2030年までに達成することを目標にしています。「持続可能な開発」と聞くと環境問題のことが思いつくかと思いますが、それ以外に、戦争や貧困、教育格差などさまざまな人権問題も取り組みの対象です。

SDGsのことは、ユニセフのウェブサイトにある「SDGs CLUB」のページに詳しく紹介されています。みなさんの将来に関わることです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ユニセフ>子どもと先生の広場>SDGs CLUB